

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 竹内工業株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で、差別しない体制を就業規則に明記している。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に定めている。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			労基法等の改正内容を従業員に周知している。長時間労働は正のための労働生産性改善を行っており、従業員との残業削減について定期的に話し合いを行っている。									8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。（交流会の開催など）				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			毎月1回労働安全衛生会議を行い、工事現場の危険予測、作業手順の確認等を通し、工事作業現場の整備を行い労災発生の防止を行っている。			3						8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			年1回定期健康診断時にストレスチェック及び必要に応じて面接を実施。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			女性が工事現場でも活躍できるよう、作業所環境を整えている。65歳を定年としているが、65歳以降も働く希望のある者には出来る限り働いてもらえる環境を整えている。						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			CPDS・CPD取得のためのセミナー等へ参加しており業務に必要な資格や免許の積極的取得を推進している（取得にかかる経費は会社負担）				4	5.5				8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			社員はすべて正社員として定年まで雇用し、功績・能力に応じた同一賃金を支給。						5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	身体的健康への投資として、運動習慣の定着支援に取り組んでいきたい。ウォーキングイベントの開催（歩数に応じたインセンティブ付与）、または近隣のスポーツジムの利用割引制度を導入する。			3						8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備している。長野県産業廃棄物3R実践協定（長野県）を締結している。マニフェスト管理の適正化に向けて電子化率の目標をたて協力会社への働きかけを強化する。											11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			EA21に則り、自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、環境活動レポートにて自社の状況を公表している。								7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			EA21に則り、自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、削減している。								7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			EA21に則り、使用量の抑制及び適正使用・管理を実施している。			3.9			6.3						11.6	12.4					

目 番 号	テ コ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			EA21に則り、環境に配慮した材、製品を使用し生物多様性保全に配慮している。						6.6									15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			EA21に則り、事業所及び作業所の資源利用の削減、再利用を推進している。長野県産業廃棄物3R実践協定(長野県)を締結している。グリーン購入品を可能な限り使用している。										13		14.1						
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			EA21に則り、水使用量を把握し、適切に管理している。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			EA21を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			EA21に則り、環境活動レポートを発行・公表している。長野県産業廃棄物3R実践協定の計画書及び報告書を発行している。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			本社屋根への太陽光パネルの設置を行い再生可能エネルギーの使用を行っている。							7.2							13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	今後は、すべての材料を再生品に置き換えていく。建物の解体現場から出るコンクリート塊を破碎・分級した「再生骨材」を、路盤材や建築物の基礎コンクリートの一部として積極的に調達・利用します。													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則に定め、社内浸透を図っている。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為を含む行動規範の整備と社内会議にて指導し、周知している。建設業法、独禁法に則り業務を遂行している。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			知的財産を適切に管理し、保護に努めている								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			「個人情報に関する保護規定」を就業規則に定め、会社内で適切運用している。社員のマイナンバーについては、規程を作成し、管理している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って いないこと を確認している	チャレンジ (任意)			工事材料におけるサプライチェーンを確認している。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	サプライヤーや事業パートナーに対して、口頭で「配慮してください」と伝えるだけでは、具体的な行動の基準が曖昧になります。そのため、「明確な基準を文書化し、それを契約の条件にして、パートナー企業に法的・義務的な順守意識を生じさせ不正や侵害を未然に防ぐ体制が整う」という道筋で取り組みます。					5		8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			パートナーシップ構築宣言の重要性に鑑み、登録を行った			3					8	9	10							17	

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			設計図・設計書に基づいた施工に努めている。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			製品引渡前の社内検査の徹底を図っている。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境に配慮した製品の製造、環境負荷の少ない工法を顧客に提案し、施工に努めている。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境負荷の少ない建築材の使用を積極的使用等を提案している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			企業の社会的使命を認識し、地域に根差した企業を目指し、地域貢献に努めている(地域の草刈り、泥上げ作業等の地域の活動に参加している)				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			消防団協力事業所の認定を受けている。東御市防災支援協会の会員として地域のボランティア活動を行っている。工事現場周辺の日々のゴミ拾い、草刈りを行っている。				4							11			14	15		17
35	組織体制	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			工事現場から出る支障木等を廃棄物とせず建設資材として有効利用している。								8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			就業規則の中に経営理念及び経営目標を明文化しており、全社員で共有している。経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に説明している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			会社内の会議で決まったことなどは掲示板等で周知している。法令遵守の重要性を掲示板等に掲げ全社員に向けて発信及び周知している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			サステナビリティ基本方針の明文化を経営計画に記載し、役員を責任者として各部門の利害調整や経営意思決定を行っている。																	16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			EA21に則り、リスクマネジメントを行っている。																	16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			社内会議、掲示板等でCSRを常に周知し、責任を持った対応に取り組んでいる。																	16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			EA21に則り、事故や災害発生時の対応を確認している。適宜緊急時災害等訓練を実施している。工事現場では必要な時期に、緊急訓練を実施している。									9		11		13 13.1				16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	後継者候補に継承事業内容を指導していくと共に、株式譲渡を検討していく。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定